

令和元年度社会福祉法人ありす福祉会

法人本部事業報告

平成 29 年 4 月より施行された改正社会福祉法人法の新制度のもと、法人理念と基本方針に沿って、地域及び利用者のニーズに安定してサービスを提供できるよう事業を推進します。また、職員の職場定着へ向けて、資格取得の補助と、処遇改善費を申請し、所得の向上を行いました。

1. 事業所での安定したサービスの供給に向けて

- ① 利用者への処遇を手厚くできるよう、職員の資格取得の補助を行い、国家資格取得者が 3 名(介護福祉士 3 名)増えました。
- ② 処遇改善費を申請し、職員へ 33,271,000 円追加で特別手当を支給しました。

2. 人材育成及び資質向上

① 年 2 回の法人内研修の実施

第 1 回 8 月 2 日 研修担当職員佐藤 望美による

危機管理対策 ありす福祉会にて実際に起きたヒヤリハット及び事例対応と他法人の施設であった事例対応について過去にあった事例について、今の職員だったらどう対応するか、想定される事故が起きた場合職員としてどのように対処するのがよいのかを事例を交えてシミュレーション形式での研修を行いました。

第 2 回 2 月 7 日 研修担当職員佐藤 望美による

「一般職員向け」「役職職員向け」自己の課題と責務についてをそれぞれ日程とグループに分けてロールプレイング形式の研修を行いました。

② 11 月 21 日神奈川県平塚市にある社会福祉法人進和学園を施設見学

昭和 33 年 6 月 進和学園(知的障害児入所施設 児童 30 名)を設立

昭和 53 年 3 月 児童施設を廃止する。(成人施設に転換)

平成 8 年 4 月 ひらつか就労援助センターを開設する

平成 18 年 3 月 しんわルネッサンス福祉工場を設置する

平成 22 年 4 月 入所厚生施設から施設入所・生活介護に移行する

平成 29 年 3 月 しらゆり保育園(定員 60 名)の運営を社会福祉法人ときわ会より引き継ぐ

平成 30 年 8 月 就労定着支援事業の新規指定を受け、しんわルネッサンス就労移行

就労継続支援 A 型事業及び施設運営について学びに行きました。

3. 法人の安定した運営

①評議員会及び理事会を実施

評議員会

日付	議題	備考
6月21日	【審議事項】 平成30年度事業報告 平成30年度収支決算報告及び監事監査報告 理事・監事選任について 【承認事項】 坂戸市による生活サポート事業に係る指導監査結果について 【了解事項】 理事長職務執行状況報告	
12月13日	忘年会	
3月26日 (書面決議)	【審議事項】 社会福祉法人ありす福祉会各事業所の補正予算(案)について 社会福祉法人ありす福祉会各事業所の事業計画(案)について 社会福祉法人ありす福祉会各事業所の当初予算(案)について	

理事会

日付	議題
5月25日	<p>【審議事項】 平成30年度事業報告 平成30年度収支決算報告及び監事監査報告 理事・監事選任について 評議員会召集について 福祉有償運送事業みずきの運営規程変更について</p> <p>【承認事項】 坂戸市による生活サポート事業に係る指導監査結果について</p> <p>【了解事項】 理事長職務執行状況報告</p>
6月21日	<p>【審議事項】 理事長の互選について</p>
7月12日	<p>【審議事項】 聖神学園管理棟解体工事等契約の件 福祉医療機構借入に伴う担保物件設定の件 聖神学園改築工事入札参加業者審査の件 聖神学園改築工事に伴う設計管理会社契約の件</p>
8月7日	<p>【審議事項】 聖神学園改築工事に係る契約の件 埼玉県比企郡鳩山町大字赤沼1616-1 ひまわり荘隣地購入の件</p>
10月4日 (書面決議)	<p>【審議事項】 聖神学園特殊浴槽購入に係る入札参加業者募集の為の公告について</p>
10月11日 (書面決議)	<p>【審議事項】 聖神学園特殊入浴設備整備に伴う業者選定の件</p>
11月7日	<p>【審議事項】 聖神学園特殊入浴設備購入に係る契約の件 あかねの郷防犯カメラ設置工事に係る契約の件 聖神学園厨房設備購入に係る一般競争入札公告文設定の件</p>
12月13日	<p>【審議事項】 聖神学園厨房設備一式購入に係る入札参加業者審査の件</p>
1月24日	<p>【審議事項】 聖神学園厨房設備一式工事に係る契約の件 評議員会招集について</p>

	【承認事項】 埼玉県福祉部監査課による監査結果について
3月26日 (書面決議)	【審議事項】 社会福祉法人ありす福祉会各事業所の補正予算(案)について 社会福祉法人ありす福祉会各事業所の事業計画(案)について 社会福祉法人ありす福祉会各事業所の当初予算(案)について 就業規程の変更について

令和元年度みのりの郷事業報告

第1部 総括

1 運営方針

「障害者の QOL 向上」に向けた取り組みとして、生活介護という事で、創作活動や単純な日中活動ではなく、「介護予防」と「経済活動への参加」という観点から、みのりの郷では利用されている方に作業活動を行って頂き、生活の質の向上と見聞を広めてもらえるよう、取り組んでおります。

第2部 事業活動

1 利用者の詳細

(1) 利用者数（令和2年3月31日現在）

事業の種類	定員	現員	備考(加算等)
生活介護	20	19	・送迎(重度) ・福祉職員配置(I) ・人員配置体制 (1.7:1)
合計	20	19	

(2) 利用者数推移（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

事業の種類	6月末	9月末	12月末	3月末	備考
生活介護	20	19	19	19	
合計	20	19	19	19	

(3) 利用者年齢別利用者数（令和2年3月31日現在）平均年齢46.5歳

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	合計
男	0	1	0	5	1	1	0	8
女	0	4	0	0	3	3	1	11

(4) 利用者支援区分別利用者数（令和2年3月31日現在）

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	2	2	4	8
女	0	0	1	2	5	3	11

2 職員配置（令和2年3月31日現在）

職名	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	医師	看護師
人数	1	1	18	1	2
常勤換算	1	1	13.8	0.1	1

3 事業内容

平成24年4月、定員20名の生活介護事業所として開設、主に聖神学園やグループホームを利用されている重度障害者のうち、生産活動に興味があり、将来就労支援事業や一般就労に進みたい方への作業支援と生活支援を行う事業所としてスタートいたしました。当初はまずできる作業内容に専念していただき、徐々に新しい受注先を開拓し、新しい作業へ挑戦していく訓練方針で運営、その後、従業員と利用者の増加に伴い、新しい仕事も最初は1:1で指導し、一つの工程を習得出来たら次の工程を支援し、できることを当人のやる気に合わせて時間がかかってもいいからじっくり指導し、いつかできる様になり、達成感とやりがいも習得していただけるよう指導カリキュラムを各々に稟得して立案して指導してまいりました。

そうして得た賃金を今度は利用者自身が自分のために欲しいものを買ったり、行きたいところへ出かけたり、また、最近グループホームと協力し、介護予防と運動不足の解消にむけてプール等での運動に出かけていただいたりと、社会参加だけでなくレクリエーション活動もできるように支援してきました。

(1) 生活介護

単調な作業日課を過ごさせるのではなく、なるべく全ての利用者がすべての作業に携われるよう、人員配置体制を利用し、まずは1:1で一つの工程を教え、時間がいくらかかろうとも、本人がやる気さえあれば、作業訓練を行う方針で支援し、様々な作業を経験できるようにしてみのりの郷へ来るのが常に楽しみであるよう尽力しております。

(2) 主要受注先及び作業内容

アール・エス・ケー	小売店用の販促備品の組み立て
関東パック	お菓子の袋詰め
(株)ヒューマン	広告の封入等
(有)サンシャイン企画	贈答用の化粧箱折り
(株)関水金属	鉄道模型の組み立て
(株)BMLメディカルサービス	尿検査キット袋詰め

- (4) 主要受注先別工賃収入
- | | |
|-----------------|-------------|
| アール・エス・ケー | 736,833 円 |
| 関東パック | 45,000 円 |
| (株)ヒューマン | 376,574 円 |
| (有)サンシャイン企画 | 24,180 円 |
| (株)関水金属 | 556,461 円 |
| (株)BMLメディカルサービス | 1,970,800 円 |
- (5) 一人当たり月額平均工賃額 16,271 円
(前期比：1,266 円増)

4 行事

日々の活動が作業のみの単調なものにならないように、みのりの郷、あかねの郷及びGHと合同で以下の行事を実施しております。

令和元年度行事实施表

4月	お花見	10月	昼食外出
5月	近隣施設交流会（運動会）	11月	日帰り旅行（リンゴ狩り）
6月	日帰り旅行（バンダイミュージアム）	12月	忘年会（ボーリング・食事）
7月	昼食外出	1月	新年会
8月	近隣施設交流会（演奏会）	2月	自粛で未実施
9月	一泊旅行（新潟県・越後湯沢）	3月	自粛で未実施

令和元年度 聖神学園事業報告

令和 2 年 4 月 28 日

1 支援事業別利用状況

令和 1 年(平成 31 年)度は、生活介護 59 名(定員 60 名)、施設入所支援 47 名(定員 50 名、男女内訳男性 29 名・女性 18 名)でのスタートとなりました。短期入所事業は、利用者 15 名、延べ利用日数 846 日です。日中一時支援事業については、31 年度より積極的な受け入れをおこなったものの利用者 2 名、延べ 22 日にとどまっています。

令和 1 年度内における利用者人数等の推移について、生活介護は、同年度末までに 56 名と減少し、施設入所支援は、令和 1 年 5 月 1 日に入所 1 名(さいたま市男性)、2 年 1 月 31 日に退所(久喜市女性)となっています。

(表 1)

事業名	定員数	利用者数 (31/04/01)	利用者数 (2/03/31)
生活介護	60 名	59 名	56 名
施設入所支援	50 名	47 名	47 名
短期入所	宿泊 2 名 及び空床型	期間中利用者 15 名 (延べ利用日数 846 日)	
日中一時支援 (契約市町村)	坂戸市・日高市 越生町・鳩山町 毛呂山町	2 名(坂戸市、鳩山町ともに男性) 利用 22 日	

2 年齢別利用者数(施設入所支援) 平均年齢 50.51 歳 (令和 2/3/31 現在)

	20~29	30~39	40~49	50~59	60 以上	合計
男性	1	2	19	4	4	30
女性	1	1	3	6	6	17

3 障害支援区分(施設入所支援) 障害支援区分(生活介護) (令和 2/3/31 現在)

	障害支援区分(施設入所支援)					障害支援区分(生活介護)				
	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
男性			6	24	30		3	8	26	37
女性		1	6	10	17		1	8	10	19

4 職員数 (令和 2/3/31 現在)

	施設長	嘱託医	サビ管	支援員	看護師	栄養士	調理師	事務員	合計
常勤	1 名		1 名	20 名	1 名	1 名	3 名	2 名	29 名
非常勤		1 名		24 名			4 名	2 名	31 名

サビ管：サービス管理責任

5 生活介護利用者への支援活動結果

令和1年(平成31年)度は、昨年度と同様に歯磨き・バイタルチェック・着替え等、健康、清潔保持のための個別的支援を徹底するだけでなく、掃除・洗濯・棟内消毒・温湿度管理など環境・衛生面における間接的支援を充実させることで、利用者の皆様が、安全・安心に日々の生活を送れるよう邁進してまいりました。本年度は、インフルエンザ等を1人も掛かることなく過ごして頂くことが出来ました。2月過ぎから流行している新型コロナウイルスに対しても、消毒等を徹底し、外部との接触を最小限にとどめることで感染者をださないで生活できるよう努めています。

日中活動～日中の作業活動は、昨年同様、全ての利用者の方が必ず何れかの作業活動に参加できるよう支援を行っていくことを念頭におき取り組みました。作業内容は、屋内活動としてホチキス作業・鉄道模型関連・箱折り他、新規取引先の開拓を行ない、また他事業所と連携を図り、作業の谷間(空き)を生じさせないよう努めています。屋外活動では、農耕班・機能訓練班に加え、昨年度より始めた運動班(ポスティング班)を充実させ日々の活動として継続しています。農耕班は、作付面積が増えた為、参加利用者および支援職員のスキルアップを念頭に活動の充実を図っており、安定した収穫を目指してきました。機能訓練班においては、従来の活動を継続し、参加者の体力維持、増進に努めています。作業の成果として工賃を支給、班単位での外出(レクリエーション活動)を行うことで活動意欲を高めています。

余暇日課～利用者の方の高齢化、運動不足による体力の低下が現れ始めているため、昨年同様、週末には距離別の歩行訓練を行ってきました。ほぼ全員の利用者が参加しています。天候不良時にはカラオケ・DVD鑑賞等を行ない、休日を飽きることなく過ごして頂けるよう努めています。余暇支援は、休日のみならず夕方の空いた時間には、体操など室内で体を動かすプランも取り入れています。施設内の装飾等についても、折り紙等を使用し、ちぎり絵等を行なう女性利用者の参加も多く、手作り感のある装飾が施されています。毎月実施している利用者自治会での意見を踏まえて行事・日中活動・食事等に出来る限り反映できるよう努めています。

地域との連携～地域における役割として、「災害時における二次避難所(福祉避難所)」・「地域支えあいAED協定」を継続し、今まで同様地域との連携を強化していきたいと思っております。また、地域行事への積極参加を行うなど、地域に溶け込める活動を推進していきます。

6 年間行事

月	行 事	月	行 事
4月	お花見外出	通年	誕生会(年3回)
5月	野外パーティー		避難訓練(年2回消防署立ち会い)
6月	収穫祭	年2回	交通安全教室
7月	日帰り旅行		地域活動、施設交流会
8月	夏祭り		内科健診
9月	野外パーティー	年1回	インフルエンザ予防接種
10月	秋の旅行		胸部レントゲン
11月	バイキング		
12月	クリスマス会		
1月	新年会		
2月	節分		
3月	ひな祭り・春の旅行		

令和元年度 グループホームかのん 事業報告

1 利用状況

グループホームかのんは、令和元年度当初、利用者38名（男子25名・女子13名／定員44名）で始まりました。

令和元年度の新規利用者は、蕨市（5月）・鶴ヶ島市（5月）は、鳩山町（7月）小川町（10月）・江東区（1月）・さいたま市南区（2月）・朝霞市（2月）から各1名利用しております。正式に利用された方は、7名のうち4名となります。1名は、退所となっております。

ホーム名	定員数	利用者数 (H31.4.1)	利用者数 (R2.3.31)
いずみ荘	4名	4名	4名
ひまわり荘	4名	4名	3名
今宿寮	14名	11名	13名
いまり寮	6名	6名	6名
いつき寮	16名	12名	15名
合計	44名	38名	41名※

※=入院者1名を含む。以下同じ。体験利用者は含めず。

2 職員配置状況

令和2年3月31日現在

	寮長 (管理者)	サービス 管理責任者	看護師	生活 支援員	世話人
常勤	1名 (兼任)	2名 (うち1名兼任)	1名 (兼任)	4名 (うち2名兼任)	
非常勤				11名	24名

※ 寮長（管理者）は、みのりの郷所長を兼任。

※ サービス管理責任者1名及び看護師は、生活支援員を兼任。

3 年齢別利用者数

(平均年齢＝ 49.96歳／前年度49.36歳)

令和2年3月31日現在

	20歳 以下	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳 以上	合 計
男子	0名	4名	1名	10名	4名	7名	26名
女子	1名	2名	0名	2名	5名	5名	15名
合計	1名	6名	1名	12名	9名	12名	41名

4 障害支援区分： 障害支援区分 平均 4.58

令和2年3月31日現在

	区分1 以下	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合 計
男子	2名	0名	2名	8名	8名	6名	26名
女子	0名	0名	1名	4名	5名	5名	15名
合計	2名	0名	3名	12名	13名	11名	41名

5 年間行事

グループホームは、家庭的な雰囲気を中心に運営しており、季節ごとの行事や旅行に取り組んできました。利用者も各行事を楽しみにしており、今後も内容の充実に努めてまいります。

行 事 名	実 施 月
ホーム旅行	9月・3月(コロナウイルスで中止)
避難訓練	10月・3月

※上記のほかに、各ホームで誕生日会などを実施。

令和元年度相談支援センターありす事業報告

1 概要

障害者総合支援法及び児童福祉法の趣旨に則り、利用者個々の有する能力及び適性に応じて自立した生活を営むことができるよう福祉サービスが総合的に提供できるよう支援しました。

具体的には、指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業として「サービス等利用計画」、「障害児支援利用計画」「モニタリング報告書」等の計画相談を重点的に行いました。

また、指定一般相談支援事業としての地域移行支援事業や地域定着支援事業については該当事例がありませんでした。

2 サービス等利用計画の相談状況

令和2年3月31日現在

(1) ありす福祉会運営施設の利用者

平日の昼間	夜間・休日	人数	合計
聖神学園	聖神学園	39	52
	グループホームかのん	11	
	自宅	2	
みのりの郷	聖神学園	3	17
	グループホームかのん	12	
	自宅	2	
あかねの郷	グループホームかのん	11	33
	自宅	22	
あいな園	自宅	10	10
(他法人・一般就労等)	グループホームかのん	1	1
合計			<u>113</u>

(2) 他施設・在宅者

坂戸市	毛呂山町	鳩山町	日高市	越生町	小川町	その他	計
57	33	33	17	5	4	6	<u>155</u>

(3) (1)と(2)の合計 113名 + 155名 = 268名

【参考】

支援体制の今！（No.2）

障害者の福祉を進めるにはサービス提供事業所、相談支援事業所、行政の連携による支援体制が必要です。

特にサービス提供事業所が不十分な場合計画を作っても実効性が上がりません。

周辺市町毎のサービス提供事業所数は次のとおりですが、ここ数年かなり拡充されてきております。

なお、市や町の垣根を越えて利用することができます。

	居宅介護、 生活サポート	入所 施設	通所 施設	グループ ホーム	放課後等 児童発達
坂戸市	24	1	9	12	12
鳩山町	3	2	1	6	2
毛呂山町	9	8	4	6	1
越生町	0	0	2	2	0
日高市	12	0	11	22	3
鶴ヶ島町	13	0	10	6	9
川越市	—	6	50	32	—
東松山市	—	3	16	38	—
滑川町	—	2	8	2	—
嵐山町	—	4	4	11	—
小川町	—	0	4	3	—
ときがわ町	—	0	1	3	—
吉見町	—	2	2	8	—
川島町	—	0	2	1	—
所沢市	—	3	—	—	—
飯能市	—	1	—	—	—
狭山市	—	3	—	—	—
入間市	—	2	—	—	—

— 当センターでの利用者が殆どいない市・町です。

令和元年度あかねの郷事業報告

第1部 総括

1 運営方針

利用者個々の能力や適性に応じた支援を提供し、自立した日常活動を営むことの一助となるような支援を心がけました。

第2部 事業活動

1 利用者の詳細

(1) 利用者数（令和2年3月31日現在）

事業の種類	定員	現員	備考（加算等）
就労継続支援B型	30	35	・送迎・福祉職員配置
生活介護	10	9	・目標工賃達成指導員配置
合計	40	44	

(2) 利用者数推移（令和元年度）～

事業の種類	6月末	9月末	12月末	3月末	備考
就労継続支援B型	34	34	33	35	
生活介護	10	10	9	9	
合計	44	44	42	44	

(3) 利用者年齢別利用者数（令和元年3月31日現在）平均年齢38.4歳

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	合計
男	2	5	2	8	3	3	—	23
女	1	8	5	3	3	1	—	21

※平均年齢（男41.1歳・女35.8歳）

(4) 利用者支援区分別利用者数（令和2年3月31日現在）

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	—	4	4	8	4	—	20
女	—	—	5	5	4	2	16

※区分不明者（男2名・女6

名）

2 職員配置（令和元年度）

・就労継続支援B型（人）

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員
1（兼）	1（兼）	6	2	2

生活介護（人）

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	医師	看護師
1（兼）	1（兼）	6	1	1

3 事業内容

平成27年5月、定員20名の就労継続支援B型施設として開設、同年12月就労移行支援との多機能型、その後同サービスを廃止し改めて就労継続支援B型のみとするなど変遷を経て、平成30年4月より坂戸市立城山福祉作業所の老朽化による閉設により当該事業所の利用者及び職員を迎い入れ、改めて多機能型事業所（就労継続支援B型30名・生活介護10名）として2年目の運営が終了いたしました。

利用者が作業を通して協調性や連帯感、また、働いて収入を得るという社会の当たり前前の仕組みをより理解していただきたい目的もあり積極的な参加意欲を促し、自立した社会生活に順応していけるように支援いたしました。

(1) 就労継続支援B型

受注作業内容は、従来と同様で尿検査用キットの袋詰め、鉄道模型の組み立てをメインとし行いました。また、11月より、ビニール袋印刷の検品他、新しい作業も受注しております。各受注作業のなかで尿検査キットの袋詰めは工賃単価がよく作業所全体収入の約41%を占めております。今後も更なる製品の正確性並びに納期厳守に努め、信頼を得て安定した量の確保に繋げていきます。

また、旧城山作業所の行っている資源回収は作業所全体収入の約13%を占めております。地域と触れ合える機会であり今後も引き続き行ってまいります。

当該年度の一人当たり平均の作業支給工賃は、対象利用者数が合併及び新規利用者の契約で増加が図られたにも関わらず、13,136円（前期比417円増加）でした。支給対象利用者が増加したとはいえ、対前期比で微増であり今後の努力といたします。

(2) 生活介護

生活介護サービス利用者は、就労継続支援B型利用者よりも各個々人の特性、体調、対人関係等諸要素を考慮し最善の対処をし、良質なサービスの提供につとめ諸課題を発生させることなく運営することができました。引き続き関係各位から好評価を得られるよう努力してまいります。

(3) 主要受注先及び作業内容

(株) 関水金属埼玉	鉄道模型の組み立て
(株) 関水金属坂戸	〃
(株) BMLメディカルサービス	尿検査キット袋詰め
資源回収	古紙、アルミ缶等回収
コーユー工芸（株）	ビニール袋印刷検品

(4) 主要受注先別工賃収入

(株) 関水金属埼玉	224,694円
(株) 関水金属坂戸	708,858円
(株) BMLメディカルサービス	2,887,105円
コーユー工芸(株)	318,053円 (2019.11月~5ヶ月)
他作業収入	797,000円
資源回収	898,181円
物品販売	910,000円

(6) 一人当たり平均工賃額 13,136円(前期比:417円増)

4 行事

日々の活動が作業のみの単調なものにならないように、あかねの郷1・2合同、及び

GHと合同で以下の行事を実施し好評でした。

令和元年度行事実施表

4月	お花見	10月	昼食外出
5月	近隣施設交流会(運動会)	11月	日帰り旅行(リンゴ狩り)
6月	日帰り旅行(バンダイミュージアム)	12月	忘年会(ボーリング・食事)
7月	昼食外出	1月	初詣
8月	近隣施設交流会(演奏会)	2月	自粛で未実施
9月	一泊旅行(新潟県・越後湯沢)	3月	自粛で未実施

令和元年度 あいな園 事業報告

事業4年目となる令和元年度は、年間利用者数が約2,469人と前年度より増加しており、地域における認知度も高まってきているものと考えます。また、契約件数は前年度と変化はありませんが、1日当たりの利用者数が増加傾向ですので、今後の施設運営の安定化につながる動きとなってきました。

1 利用者状況

① 利用契約者数

(令和2年3月31日現在)

事業名	定員数	契約者数 (31.3.31)	契約者数 (2.3.31)
児童発達支援	10名	1名	1名
放課後等デイサービス		18名	18名
合計	10名	19名	19名

②年齢別利用者数

(同上)

	未就学	小1～小3	小4～小6	中学生	高校生	合計
男子	—	7名	2名	3名	1名	13名
女子	1名	2名	1名	2名	—	6名
合計	1名	9名	3名	5名	1名	19名

② 利用者数等

(同上)

	平成30年度	令和元年度
利用者数	2,261人	2,469人
開園日数	279日	280日
1日当たりの利用者数	8.1人	8.8人

2 一日の流れ

<平日>

- 10:00 児童発達支援 受け入れ
活動時間（個別活動、創作活動、屋外活動等）
- 12:00 昼食
- 14:30 放課後等デイサービス 学校迎え
- 15:00 はじまりの会、おやつ
- 15:30 活動時間（個別活動、創作活動、屋外活動等）

17:30 片付け、帰宅準備、おわりの会

18:00 自宅送り

<学校休校日>

8:30 自宅迎え

9:00 はじまりの会

活動時間（個別活動、創作活動、屋外活動等）

12:00 昼食 昼休み

13:00 活動時間（個別活動、創作活動、屋外活動等）

15:00 おやつ

15:30 片付け、帰宅準備、おわりの会

16:00 自宅送り

3 支援活動結果

①コミュニケーション領域においては、日常生活やレクリエーションを通して表現活動を活発にし、自分の気持ちを相手に伝えられるように支援してきました。様々な学校から集まるため、はじめのうちは戸惑いもあったようですが、職員を介して、同じ日課を過ごすうちに交友関係も生まれるようになりました。

②日常生活スキル領域においては、食事や着替え、排泄などの基本的な生活スキルのほか、後片付けなどの普段の生活に必要な動作も身に着けられるよう支援してきました。トイレ誘導が必要な方については適宜実施しました。失禁も何度か見られましたが、次第に自発的にトイレに行かれる利用者も見られるようになりました。

③社会性スキル領域においては、人との関わりを通じて対人交流を深める中で、集団のルールを身につけられるよう支援してきました。交流を通じて、年長者が年少者の面倒をみたりするなど、年長者としての責任感が多く見受けられました。また、中学生以上の児童には、昨年同様に週一回聖神学園での作業体験を行い、スキルアップを目指していきました。

④運動スキル領域においては、体を動かすことによって体力の向上を図ると同時に、普段の生活の中でのストレスが発散できるように支援してきました。多くの利用者は散歩や行事参加に積極的でありましたが、障害が重度であるほど参加が困難になり、個別対応が多く必要であり来年度以降も職員の確保が課題となりました。

4 事業活動結果

①放課後等デイサービスを行う事業所の支援の質の向上を図るために、放課後等デイサービスガイドラインが改正され、事業所は、平成29年度から自己評価を行うとともに、保護者の評価を受けて改善を図り、その内容をインターネット等で

公表することとなりました。また、平成30年4月から児童福祉法施行条例が改正され、新たに児童発達支援事業にも義務付けられました。

あいな園では、令和2年2月から3月にかけて、「自己評価」及び「保護者評価」を実施し、その結果を保護者に報告するとともに、法人ホームページで公表しています。今回の保護者評価及び自己評価を踏まえ、今後の支援に活かしてまいります。

令和元年度みずき事業報告

1 概要

障害のある方々が地域で生活する中で、通院や余暇活動等の社会生活上必要な外出や社会参加を支援することを目的としています。

2 事業内容

(1) 福祉有償運送（生活サポート事業）

自動車ドア・ツー・ドアによる移送サービス

個別移送かつ区域内の方には生活サポート事業として補助がある。

タクシーが1時間6,620円のところ、1/6以下の950円

(2) 移動支援

公共交通機関（電車・バス等）及び徒歩にて社会生活上必要な外出や社会参加のための外出を支援

1時間当たりの費用の内容（坂戸市の場合）

	福祉有償運送	移動支援
利用者の負担	950円	1割負担（※）
みずきの収入	2,850円	2,000円

利用者の負担とみずきの収入の差額は、市・町からの補助である。

（※）収入に応じて、市・町から全額の補助を受けられる。

3 職員体制 全員が法人内事業所と兼務

本来の業務に支障がない範囲で従事

運行管理責任者 1名

運行管理責任者代行 1名（運転者兼務）

整備管理責任者 1名（運転者兼務）

運転者 数名

福祉有償運送運転者研修修了

介護者 数名（うち5名は運転者兼務）

介護福祉士

ヘルパー研修（1級、2級）修了

行動援護従事者養成研修修了・・・等

- 4 登録者数（令和2年3月31日現在）
現在25名（のべ34名）が登録
内訳は生活サポートが23名、移動支援が11名

5 今後の見通し

下の表にある通り、「通院のための送迎」「余暇活動」のための利用が多く、「親が付き添っていたが、高齢のため同行が難しくなった」「免許を返納したため車を出して欲しい」という事情により利用されることが多くあります。

公共交通機関を利用しづらいと思われる地域においては、潜在的な需要は高いと考えられます。

所得の少ない利用者にとっては大きな負担額であるため、大幅な利用者数の増加は難しいですが、一定の増加は見込まれると考えます。

利用用途（平成31年4月1日～令和2年3月31日まで）

通院のための送迎	30件
余暇活動（買い物、陶芸、映画等）	29件
一時預かり	1件
あいな園送迎	7件
短期入所利用の送迎	21件
毛呂山特別支援学校説明会の送迎	1件
銀行・郵便局等の送迎	1件
計	90件

※件数は福祉有償運送・移動支援を合計したもの